

バイオテック情報普及会の広報活動紹介



バイオテック情報普及会

COUNCIL FOR BIOTECHNOLOGY INFORMATION JAPAN

遺伝子組換え技術は、暮らしに役立つ可能性を育てています。



バイオテック情報普及会

COUNCIL FOR BIOTECHNOLOGY INFORMATION JAPAN

設立: 2001年10月1日（2008年4月1日事務局開設）
「クロップライフ」傘下の団体

ビジョン:

- 世界人口の増大(90億)を見据え、食料の安定供給に貢献する
- 環境負荷の軽減を図り、「持続可能な農業」の実現に向け貢献する

ミッション:

- サイエンスベースで透明性ある許認可システムの構築を支援し、世界におけるGMOの発展拡大に資する
- バイオテクノロジーについて、全てのステークホルダーがその重要性を認識して頂けるよう、必要な普及活動を行う

正会員:

- BASFジャパン株式会社
- バイエルクロップサイエンス株式会社
- ダウ・ケミカル日本株式会社
- デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社
- 日本モンサント株式会社
- シンジェンタジャパン株式会社

賛助会員:

- ジェネクティブジャパン株式会社
- アメリカ穀物協会

ホームページ: <http://www.cbijapan.com>

2016~2017年の活動レビュー

- 植物バイオテクノロジーを理解していただくために
…様々な啓発活動を実施しました



家庭科・栄養科教員向けバイテクセミナー



スーパーサイエンスハイスクールへの支援



バイテク作物商業化20周年
記念セミナー

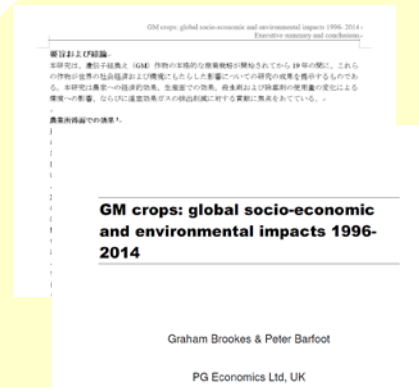


中学・高校生向け科学イベントでの啓発

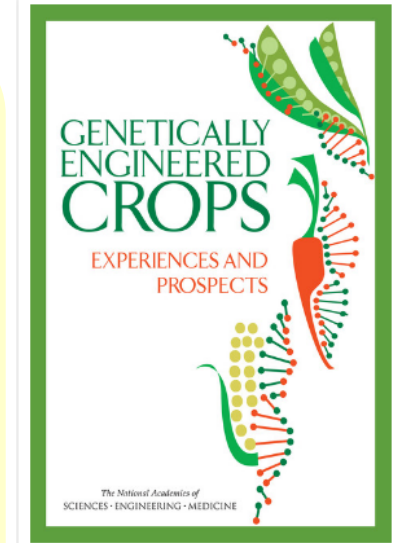
2016~2017年の活動レビュー

● 正しい判断のために情報を提供します

ウェブサイト



Brooksレポート(英国):
要約の翻訳、提供
GM作物の社会、経済、環境
への影響



米国科学アカデミー報告
書(要約)の翻訳、提供



メディア勉強会を通じた情報提供



小冊子:植物バイオテ
クノロジー101

2017年の活動プラン

● メディア対象

- メディア勉強会の開催

● アカデミア・教育分野対象

- 家庭科教員向けバイテクセミナーの開催
- 学会におけるバイテク産業紹介セミナー開催
- 高校生対象科学教育支援プログラム実施
- 中学・高校生向け科学イベントでのバイテク技術の紹介

● WEB・資料

- WEBサイト・リニューアル(ユーザー・フレンドリーをめざします)
- WEBコンテンツの改訂(分りやすい内容にします)
- 植物バイテク解説資料の作成、提供
- 植物バイテク関連の社会事象に関する最新情報(特に海外事情)を提供

